

浜本通信 浜本保険株式会社の情報発信

SUGGEST by hamamoto

mite net!

みてねっと!

2022
AUTUMN

Vol.72

DNA



がんの罹患数は年々増加し続けており、2021年には100万例に達しています。がん治療は標準治療として手術、放射線治療、抗がん剤治療の3大治療が定着しています。

その中で今、「がんゲノム医療」が注目されています。

「がんゲノム医療」では「がんゲノムプロファイリング検査」によって多数の遺伝子を同時に調べ、その検査結果をもとに治療を行います。

がん発生原因は様々な要素がありますが、細胞の中の遺伝子がなんらかの原因で変化したり生まれ持った遺伝子がもともと変異したことによることも原因の一つと言われています。

そこでがんの腫瘍組織を採取して一度に100種類以上のがんに関わる遺伝子を調べ、その遺伝子に対応した治療薬を探す検査が「がんゲノムプロファイリング検査」です。

検査の結果を受けて、薬物医療や遺伝医学・遺伝カウンセリング等の専門家から構成されるエキスパートパネルという専門家会議で一人一人の患者さんにあつた治療法を検討します。

3大治療でもがんが治らない人の約3割がこの検査で有効な薬が見つかると言われています。

がんゲノムプロファイリング検査は、厚生労働省が指定した全国233か所の病院で実施でき、兵庫県では兵庫県立がんセンターなど7つの医療機関で実施できます。(2022年3月末)ただ、薬が見つかっていても日本では承認されていない場合も多くあります。

日本の医療機関の診療方法は保険診療と自由診療の2つがあります。(裏面生保トピックをご参照ください。)承認されていない薬の使用は自由診療となり治療費全額が自己負担となるため金銭的な負担は計り知れません。

そこで先進的な医療について、身近な医療機関で迅速に受けられるよう「患者申出療養」ができました。

この制度は、患者の申し出を起点として、安全性を確認しつつ治療を受けられる制度です。自由診療が保険対象部分も含め全額自己負担なのに対し、患者申出制度は保険対象部分は保険適用されます。つまり金銭的負担が大幅に軽減されます。

いま、がんの10年生存率は全がん平均58.9%、胃がんや大腸がんは70%近くの生存率です。

今やがんは様々な治療で治せる病気なのです。

「がんゲノム医療」をご存知ですか？



弁護士費用特約で 日常生活での事故に備えませんか？



日常生活における偶然な事故によりケガをしたり物を壊された場合、相手の方に法律上の損害賠償請求をするために支出した弁護士費用等を補償する特約があります。それが「弁護士費用特約(日常生活・自動車事故型)」です。(特約の名称は保険会社により異なります)

【例えばこんな被害事故にも安心!】

- 自転車や歩きスマホをしている人に衝突され、転倒してケガをしてしまった。
- 他人の犬に噛まれてケガをした。
- マンションの上の階からの水漏れで家財が汚れてしまった。

そもそも
弁護士費用は
いくらくらい
かかるの？



例えば、相手に300万円の損害賠償請求をする場合...

- ① 相談料:1~2万円/時間
- ② 着手金:24万円
- ③ 報酬金:48万円
- ④ 日 当:3万円(往復4時間以内の「上限額」)
- ⑤ その他実費(交通費、通信費、書類作成等)

- ・これだけでも100万円近くかかる可能性があります。
- ・損害賠償請求額が高額になると、弁護士費用も比例して増加します。

現在弁護士費用特約「自動車事故型」に加入されている方も「日常生活・自動車事故型」への変更を検討してみませんか？

保険診療と自由診療



昨今、自由診療という言葉を目にする機会が増えて来ています。

日本の医療機関の診療方法は、保険診療と自由診療の2つがあることをご存知ですか？今回は保険診療と自由診療の違いをご案内いたします。

【保険診療】

1961年に施行された「国民皆保険制度」の下、健康保険に加入している全ての患者が、どの医療機関であっても同じ内容の診療を同じ金額で受けることができる仕組み。その診療行為は厚生労働省が認可した行為に限定されています。

保険診療の医療費は、患者の負担額の一部となるように設定されている。これが3割負担と呼ばれているものです(年齢に応じて自己負担割合は異なります)。表面で紹介してお

ます「がんゲノムプロファイリング検査」は保険診療の対象となります。

【自由診療】

上記保険診療の適用を受けない医療行為のことを指します。例えば歯の治療のインプラント治療や美容整形、レーシック手術などが自由診療に該当します。自由診療の医療費は全額自己負担になります。

ここで皆さまに知っていただきたいことは「がんの抗がん剤治療」において自由診療が増えてきているということです。日本で未承認の抗がん剤を使用する場合は自由診療となり、その医療費は全額患者負担となります。その未承認の抗がん剤は海外では承認がでており、実績がある薬もあります。効果が期待できる薬は高額で使用できず、悩まされているがん患者は少なくありません。

そこで立ち上がったのが民間の保険会社です。自由診療の費用を保険でカバーできるよう商品開発を行いました。これによってお金の面で心配することなく、自身に合った、最新で、効果が期待できる治療が受けられる体制が整いつつあります。皆さまは自由診療を受ける準備ができていますか？弊社には医療保険の見直し相談可能なファイナンシャルプランナーが複数名所属しております。もし、話を聞いてみたいという方がいらっしゃいましたら弊社担当者までお気軽にお声掛けください。

見直してください あなたの暮らしの保障
浜本保険株式会社

- 本 社 / 兵庫県加西市北条町横尾313-1 A-NOVA SANWA BLDG 1F
TEL.0790(42)1223(代) FAX.0790(43)1205
- 高 砂 営 業 部 / 兵庫県高砂市荒井町御旅2丁目1番1号
TEL.079(442)3515(代) FAX.079(442)3054
- HAMAMOTO CONSULTING OFFICE
兵庫県姫路市北条梅原町119北条梅原350ビル
TEL.079(225)5551(代) ☎0120(920)903



■本社/北条営業部

■高砂営業部

■HAMAMOTO CONSULTING OFFICE